

【授業参観レポート】

2016年6月14日(火)

レポーター： ミント音声教育研究所 田淵龍二

教師：山口 高領

授業： 2016.6.10 14:45~16:15 @早稲田大学 2年 17人 中級レベル / スピーキング / PC教室

シンポのテーマ： グループでのプレゼン力を養う TED ビデオの利用

【概要】

1. 前回授業課題をペアレッスンとして全員に発表させてから、本日の課題に入った。
2. 本日の課題はプレゼンビデオを利用しながら、スピーチトレーニングを行うこと。
3. 特に、身振りに焦点を当てた。
4. ビデオは3本使い、トレーニング用が1本で、補助資料が2本。
5. トレーニングに使ったプレゼンには、身振りがわかりやすく、的確なものを選んだ。
6. トレーニングはビデオの冒頭38秒12字幕を指定し、さらにクラスを4つに分けて、1組10秒程度を分担とした。
7. 最初は一斉授業で、課題部分を「映像のみ」「英語字幕付き」「日英字幕付き」の順に提示しつつ解説を交え、次に個別学習でのトレーニングに移行した。
8. 課題の締めくくりに、担当箇所の発表を1人ひとり行った。

【感想】

- a. プレゼンで身振りの焦点化したこととビデオ利用との相性がよく、びたりとはまっていた。
- b. 特にトレーニングで使った「TED/Kelly McGonigal/ How to make stress your friend」の冒頭部は字幕ごとの主張(意味)と音のリズム(音声)と身振り(視覚)が同期していて、課題に見合った題材の選択がとてもよかった。
- c. プレゼンにおける身振りについて、ビデオを3本使ったことで、課題の普遍性や広がりを与えられて、とても説得力があった。
- d. ビデオの鑑賞(1本15~20分)で、いくつかのチャプターに分けて、途中解説を入れたのは、メリハリができてよかった。
- e. 課題範囲(38秒)を3回提示しつつ説明することで意味理解の定着が行われ、しかも3回の提示において、「映像のみ」「映像+英語字幕」「映像+日英字幕」と視覚情報を変化させることで、注意の持続を心がけていたのは、課題の定着の面でとてもよかった。
- f. トレーニング部分を30秒程度に絞り、その上でさらにグループ分けして1人あたり10秒程度となったことで、生徒の集中力が持続するとともに

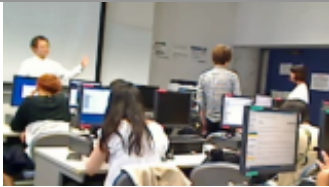

に、授業時間内に個別学習と発表を収めることができ、時間の配分に成功していた。

- g. グループごとの分担部分指示は「2列目は字幕の4番から6番」と言うように明確かつ簡潔に行われたので、全員がすみやかにトレーニングに入っていた。
- h. 個別学習では生徒は担当の数フレーズ部分を1字幕(2~3秒程度)ごとに反復再生しながら、口ずさみつつ身振りを加えていたので、課題目的の理解と、訓練方法の理解と、機器の操作がなめらかに一体化していると感じられた。
- i. 締めくくりの個人発表は8分間に17人分が行われ、「I want you to raise your hand if you ~. Anyone?」と発表者が問いかけるとクラスメンバーの幾人かが手を上げ、終わると拍手するなど、雰囲気作りにも成功していた。

【反省点】

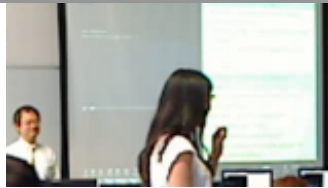
- ア. トークイズへのアクセス、TEDビデオの取り込み、課題範囲のクリッピングなど、アプリの最新機能を理解していればさらに効率と効果がアップすると思われた。
- イ. 全体としてアイコンタクトの不足が感じられたが、これはスピーチ内容の未定着が主因であると見受けられた。
- ウ. コンピュータの操作のために教師の目線と姿が操作卓に隠れてしまうことで、生徒から見たとき、操作者である教師と、音映像の提示者である教師と、解説者としての教師が分離してしまうことのマイナスが大きいので、リモコンの利用がのぞましい。

【詳細】

time	内容	メモ	特長、反省、今後の課題、よりベストな操作など
1 14:45~ #15 min	ペアレッスン ・ 前回授業の復習 ・ 全員が順に実施 ・ 1ペア1分 ・ 出席確認を兼ねる	 4534	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を見ながら話していない場合が半数弱。
2 15:00~ 1つ目のビデオ提示 #30 min	ボディランゲジの説明 ・ TED / Amy Cuddy / Your body language shapes who you are ・ 21分 ・ 全体を4~5に区分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒機での取り込みを指示するがほとんどついて行けなかった。  32601	<ul style="list-style-type: none"> ・ こちらのページにビデオ(TED取り込み1分講座)がある。 http://www5b.biglobe.ne.jp/~mint_hs/news/n20160601.html ・ 一斉提示視聴か個別PC視聴かを明確。まず一斉で行い、次にアクセス法を提示して個別を指示するとよい。 ・ ここでは、個別学習に入る必要はなかった。 ・ ボディランゲジの要点をまとめたフリップがあればよかった

<p>3 15:30~ 2つ目のビデオ提示 #20 min</p>	<p>ボディランゲジの見本 ・ TED / Kelly McGonigal / How to make stress your friend ・ 冒頭の1~12字幕(38秒)を取り扱う。 ・ 気づいたボディランゲジを発表させる。(主な点は右欄に記載)</p>	<p>・ 1回目はビデオのみ、2回目は英語字幕追加、最後に日本語字幕追加で3回一斉視聴。1クリップ38秒なので説明を加えても3分ですむ。</p> 	<p>・ ここで Talkies と TED へのアクセスを開示し、個別学習に入るとよかった。 ・ 字幕のクリッピングには、始めと終わりの字幕番号クリック。 再生は「Top」 で先頭から、「Play」 で現在位置から。 ・ 30秒程度のクリップは反復+グループ訓練に最適な長さ。 ・ センテンスごとの訓練+発表に向いている。</p> <p>48707 指摘された身振り</p>
<p>4 15:50~ 3つ目のビデオ提示 #4 min</p>	<p>・ Youtube / Steve Jobs / Apple iPad Presentation</p>		<p>ノードで横に手振り リズム(強勢)に合わせて手や身体を動かす 舞台を左右に歩きながら視線を聴衆に向ける 「you」に合わせて手を差し出す 「anyone」に合わせて手を挙げる little, moderate, a lot での指の作りや手の高さを変える</p>
<p>5 15:54~ 2つ目のビデオにもどる #16 min</p>	<p>・ センテンスごとに4グループに分けてスピーチと身振りを反復練習を各自訓練(8分)したあと、全員(17人)を順に指名して発表(8分)</p>	<p>・ センテンスごとに4~5グループに分けて個別訓練</p>  <p>65718</p> <p>・ 発表。</p>	<p>・ フレーズごとに分担を決めてスピーチと身振りを反復練習することは素晴らしいと実感した。それは個別の発表を観察していて感じた。上手にしゃべれる生徒は身振りと音声一致していて気持ちがいい。音声があたどしい生徒は、身振りも中途半端でずれていた。 ・ 身振りをつけることで音声の意味をより体得できるようだ。逆に音声の意味を理解してしゃべっていると、おのずと身振りがリズムカルになっているように見受けられた。</p>

- ・ 意味 + 音声 + 身振りの三項関係で見えていくとよい。



73632

- 6 16:10~ ・ アンケート ・ PCで書き込みアップする
#5 min

【アンケート / 自由記入】

- 1 ジェスチャーをいれて話すことのむずかしさを感じた
- 2 身振り手ぶりによって話の説得力が違うと思いました。
- 3 いつもと、違う形式の授業であり新鮮だった。マンネリズムにならないことは重要であると感じた。希望としては共和党候補のトランプ氏の演説も見てみたい。テキストとしては不適切かもしれないが。
- 4 手振りと発音があっているときに、見ていると気持ちいい！と言っていた先生の言葉がとても心に残った。面接や緊張を強いられる空間の中で、いかに自分に「根拠のない自信」を植え付けるかで、結果が大きく変わっていくことが知れて、自分の勇気にもなった。インターンが始まるので、面接のときに今日の教訓を信じて、頑張ります。
- 5 みんなの前でしゃべると緊張する。そのあまり身が縮こまる。これは負のフィードバックだな、と思いました。陥らないように頑張ってみます。
- 6 せっかく body language について学んだので、もう一つの授業のプレゼンにも応用したいと思う。照れはあまり感じなくなってきたものの、さすがにネイティブの方々と同じスピードで話すことが難しいのでその点での不安が話し方に影響しているような気がした。
- 7 プレゼンの仕方ジェスチャー ビート 指示 変化 がキー 日本語でプレゼンする機会にもこのやり方は有効だと思いました。英語で身振り手振りでプレゼンするのは初めての体験なので、楽しんでやっていきたいです。
- 8 XX君とYYさんが上手だったので、私も見習ってできるようになりたいと思います。
- 9 メモ <http://www.mintap.com/talkies/talkies.html> 4の11行目まで暗記 ボディランゲージも日常でボディランゲージを使うのは難しいと感じましたが積極的に照れずに使えるように意識していこうと思いました
- 10 ジョブズのあの動画は私も何回か見ました。合わせて、よく海外の youtuber で再生数の多い人って、ジェスチャーと言葉の同期がうまいなって思い出しました。ビートは日本語のプレゼンでも自然に使う人がいますが、意図的に使えたらいいですね。スピーチコンテスト？っていつごろやるんでしょう。土曜日とか一年を通して厳しいのですが.....
- 11 ジェスチャーはあまりしないので難しいですがフリからしていきたいと思います。

- 12 今日はいつもの違う内容で新鮮で楽しかったです。たくさん練習してスキルを身につけたいと思います。あと質問なのですが、トーキーズを使った自主学習でなにかいい方法はありますか？
- 13 How to make stress your friend も卒論のサンプルで扱いました。ジョブズのプレゼン動画を見ながらひたすらモノマネをしていた高校の ESS での活動を思い出しました。プレゼンスキルを高めたいので頑張ります。
- 14 とても有意義な授業でした。今、サークルで夏に行く予定のライブのプロデューサーをやっており、人前でプレゼンをする機会もよくあるのですが、とても参考になりましたし、納得のいくものでした。
- 15 今日の講義は本当に本当に興味深かったです！わたしはプレゼンテーションやスピーチの効果的なやり方について学びたくてこの講義を選択したので、大変ためになりました！ととても楽しかったです！またこんな感じの ted を活用した授業があるとうれしいです。
- 16 後ろの女の子の発音とジェスチャーうまかった。見て盗みたい。
- 17 トーキーズうまく使ったら絶対英語うまくなりますね。積極的に取り入れたいと思います。

Q (#12) : トーキーズを使った自主学習でなにかいい方法はありますか？

A: (田淵) 多読多聴と精読を組み合わせる。まず TED の面白そうなものをトーキーズに取り込んで手当たり次第に視聴する。そのうち「これいい!」と思ったのを、身振りや抑揚を 1 フレーズごとにとことん真似して、振り付けも暗記できるほどにはまって見よう。そのとき、トーキーズに標準装備されている自動生成問題「Cloze Test」(下段ツールバーの右端にある [12345] ボタンの左半分をクリック) を活用すると達成感が得られるだろう。

【教授法とトーキーズ】

実現したい授業目的と、そのための教授法を、滞ることなく円滑に具現するためには、道具 (Talkies) の性能と熟知が必要となる。

提示法、訓練法	可能にする機能や環境
A 指定された部分の音声と身振りを繰り返し鑑賞しながら納得いくまで反復練習。	字幕ごとにピンポイント再生
B 意味理解と定着のために課題箇所の反復再生	字幕のクリッピング
C 課題箇所の視覚情報を変化させてあきさせない反復再生	ワンクリックでの字幕切替
D 課題箇所の指示	字幕に番号を付与
E 授業で使う範囲を視覚化し、迷うことがない	字幕列を統合してラインで強調表示
F インストールされてなくても URL などアクセス方法を示すことで、ビデオ教材で授業ができる	TED-Talks をトーキーズに D&D
G 一斉授業から個別学習へ滑らかに移行できる	トーキーズも TED-Talks もウェブサイト